

資料編 II



モンブラン (フランス)

スタッフ配置

院長	宇津宮隆史
医局	河邊史子、伊東裕子、宇津宮由布子
研究室・培養室	** 大津英子、*長木美幸、*熊迫陽子、*後藤香里、*†城戸京子、*佐藤晶子、*†小池恵、金子奈央
看護部	†後藤裕子、越光直子、†篠田多加子、†関こずえ、河野絢子、赤嶺佳枝、斉高美穂、二宮睦、松元恵利子、足立直美、亀井里砂、松土留美、岡田清美、川村智恵、北田奈津枝、手島しおり、坂本順子、萬美那子、指山実千代(看護部顧問)
心理専門相談	上野桂子(臨床心理士・生殖心理カウンセラー)
総務部	宇津宮富美子
受付	越名久美、足立小百合、西郡朝美、青木麻有、大城麻依
情報処理室	工藤由香、平松里美、山路美和
厨房	矢野千恵美、油野亜由美

** : 日本哺乳動物卵子学会および日本生殖医学会認定
生殖補助医療管理胚培養士

* : 日本哺乳動物卵子学会認定生殖補助医療胚培養士

† : 日本生殖医療心理カウンセリング学会認定生殖医療相談士

培養室・検査室の流れ

年	月	行 事
1992	6	開院
	6	動物による体外受精実験開始
	7	動物による体外受精実験終了
	7	IVF-ET 臨床応用開始
	9	GIFT 臨床応用開始
	10	顕微授精セット設置
	10	IVF-ET による初妊娠
1993	2	ミリQ システム導入
	3	分割期胚緩慢凍結法導入
	3	GIFT による初妊娠
	6	IVF-ET による初出産
	8	PZD による顕微授精臨床応用開始
	9	ガス自動切換え装置設置
	10	ICSI による顕微授精臨床応用開始
	10	IVF-TET 臨床応用開始
	10	プログラムフリーザー ET-1 導入
	10	SUZI による顕微授精臨床応用開始
	10	SUZI-TET 臨床応用開始
	10	PZD による初妊娠
	12	GIFT による初出産
	12	IVF-TET による初妊娠
1994	2	MESA 臨床応用開始
	2	ET 後の安静時間 4 時間へ
	2	冷凍冷蔵庫設置
	3	SUZI による初妊娠
	7	分割期胚緩慢凍結法による初妊娠
	7	クリーンベンチ設置 (2 台目)
	7	AHA 臨床応用開始
	7	顕微授精セットに微分干渉装置追加
	8	IVF-TET による初出産
	9	ICSI による初妊娠
	11	SUZI による初出産
	11	凍結精子を使用しての ICSI 臨床応用開始
	11	TESE を使用しての ICSI 臨床応用開始
	12	研究室改造
	12	ICSI-TET 臨床応用開始
1995	1	分割期胚緩慢凍結法による初出産
	2	化学射精精子を使用した ICSI による初妊娠
	2	MESA-ICSI による初妊娠
	2	ICSI-TET による初妊娠
	3	PZD による初出産
	4	凍結精子を使用しての ICSI による初妊娠
	5	空気殺菌消臭集塵装置設置 (3 台)
	5	ICSI による初出産
7	ZIFT の臨床応用開始	

年	月	行 事
1995	10	研究室改造
	10	化学射精精子を使用した ICSI による初出産
	10	RESA 精子を使用した ICSI 臨床応用開始
	11	RESA 精子を使用した ICSI による初妊娠
	12	凍結精子を使用する ICSI による初出産
1996	2	ZIFT による初妊娠
	2	SQA 導入
	3	顕微授精セット(2 台目)、クリーンベンチ(3 台目)設置
	3	市販 medium 使用開始
	4	MESA-ICSI による初出産
	5	移植胚を 3 個以内に限定
	7	RESA-ICSI による初出産
	9	ZIFT による初出産
1997	2	ディープフリーザー設置
	3	SQA II B 導入
	3	TESE-ICSI による初妊娠
	4	動物実験室設置
	6	精子形態評価法 Strict Criteria 臨床応用開始
	8	ホルモン測定器バイダス導入
1998	11	3日目胚移植臨床応用開始
	1	FISH 実験開始
	4	生殖医療研究所建設工事開始
	9	生殖医療研究所建設工事終了
	10	生殖医療研究所、研究室内クオリティーコントロール開始
	10	電気泳動装置導入
	10	5日目(胚盤胞期)胚移植臨床開始
	12	クリーンベンチ 3 台(6 台目)設置
1999	12	胚個別培養開始
	1	生殖医療研究所臨床運用開始
	1	生殖医療研究所実験室運用開始
	7	後期胚 Vitrification 法導入
	10	後期胚 Vitrification 法による初妊娠
	10	ホルモン測定器エクルーシス導入
	10	採卵室拡張工事
2000	5	実験室に院内 LAN パソコン導入
	7	後期胚 Vitrification 法による初出産
	10	蛍光顕微鏡画像取り込み装置導入
	10	HOST 臨床応用開始
	11	Hatching stage 胚移植施行開始
2001	12	動物飼育施設設立
	2	移植胚を 2 個以内に限定
	5	凍結カード使用開始
	6	クリーンベンチ 1 台(7 台目)設置
	8	停電時用ブザー設置
	12	ET 後の安静時間 15 分へ

年	月	行 事
2002	6	胚培養士 6 名合格
	7	へパフィルター交換
2003	2	前核期胚 Vitrification 法導入
	3	前核期胚 Vitrification 法による初妊娠
	5	胚培養士 2 名合格
	6	ホルモン測定器エバネット導入
	8	統計勉強会 (3 回)
	9	新 SarahBase 導入
2004	11	前核期胚 Vitrification 法による初出産
	3	IVM 臨床応用開始
	5	へパフィルター交換
	8	ホルモン測定器 AIA1800 導入
2005	10	オートガスアナライザー導入
	3	IVM による初妊娠
	3	顕微鏡ディスカッション装置導入
	5	お話部屋設置
	6	インキュベーター監視システム導入
	7	血液ガス測定装置 アイスタット導入
	11	IVM による初出産
2006	11	院内倫理委員会設立
	5	胚培養士 1 名合格
	6	胚呼吸量測定装置導入
	8	胚呼吸量測定による初妊娠
	8	インキュベーター耐震工事
	9	インキュベーター耐震工事
	10	プラズマ滅菌機導入
2007	10	PGD 用蛍光顕微鏡フィルター導入
	2	ピエゾマイクロマニピレーター一式導入
	4	移植胚を原則 1 個とする
	5	ミリ Q システム変更
	7	へパフィルター交換
2008	2	ELISA 測定機器導入
	4	胚培養士 1 名合格
	4	不妊相談士 1 名合格
	5	インキュベーター監視システムメール配信導入
2009	4	不妊相談士 1 名合格
	6	ピエゾマイクロマニピレーターに微分干渉装置追加
	7	ライカ蛍光顕微鏡導入
2011	7	クリーンベンチ 1 台 (8 台目) OPE 室より移動
	7	エアシャワー導入
	7	ホルモン測定器 AIA2000 導入
	7	検査室バーコードシステム導入
2012	1	Rapid-i を用いた Vitrification 法導入
	2	Rapid-i を用いた Vitrification 法による初妊娠



ベルサイユ宮殿 (フランス)